



小山台

学校だより
10月号
令和5年9月29日
横浜市立小山台小学校

大人も子どもも夢を語ろう

児童支援専任 塚澤 英治

早いもので令和5年度も折り返しを迎えました。ランドセルが大きく感じられた1年生も、毎朝しっかりと足取りで登校し、元気よくあいさつをする姿に頼もしさを感じられるようになってきました。

9月は前期のまとめとして振り返りをしています。よくできたこと、課題に残ったこと、困ったことなどを言葉や文章で担任や友達に報告する様子が各クラスで見られました。児童支援専任という役割上、児童の学校生活の困りごとについて話をする機会が多いのですが、自分の気持ちや考えをうまく伝えられない子が少なくないのが現状です。原因は様々でしょうが、普段から気持ちを素直に表出する機会が少ないのかもしれないかもしれません。私自身受験生の保護者として、わが子が志望校をなかなか決められず、高校で何がしたいのか、将来どんなことをしたいのかもはっきり伝えられないことに驚きました。中学校で同年代の友達とのかかわりの中で、志望校や自分の将来像「くらい」見えてくるだろうと高を括っていました。自分の学校生活や社会人としての経験を、夢や希望のあるものに思えるようにと学校で子どもたちに話すことはよくありましたが、自分の子にはほとんど話してこなかったなと反省しています。日々の仕事に追われ、家族全員で食卓をゆっくり囲むこともなかなかできない親の様子を見ている子どもに、希望に満ちた楽しい将来の姿を想像しようと言ってもそれは無理な話だろうと思います。

私自身このことに気付いてから将来のことについて意識的に話題にするようにしています。「自分の子どものころの夢はこうだった。」「こんなことをきっかけにこの夢が変わった。」そんな話をしていると、子どものころの楽しかったことが思い出され笑顔で話せます。子どもには「どう思う?」「どうして?」と質問し、自分の言葉で語れるようにしています。子どもからは「〇〇をしてみたいな」という言葉も少しずつ聞こえてきました。もっとたくさん夢を語らせてあげたいなと思うこの頃です。

大人が夢を語れなければ、子どもは夢を見ることさえできないかもしれません。殺伐とした世相ではありますが、夢を大きくもつことで豊かで明るい生活を営むことができると信じています。みなさんもお子さんと夢を語ってみませんか。

小山台小学校 地域防災拠点 防災訓練 10/15(日)について

★午前9時～11時30分 小山台小学校体育館・校庭にて、地域主催の防災訓練が実施されます。ぜひご参加ください。(外履きを入れる袋と上履きをご持参ください。)

- <内容>
- ・防災についてのDVD視聴
 - ・災害用トイレ、体育館区割、ペットの災害時対応展示等の見学
 - ・防災備蓄食料の配付